

ゼロカーボンシティ美唄市

～2050 年二酸化炭素実質排出ゼロを目指して～

近年、全国各地で、局部的豪雨、豪雪などの大規模な自然災害の多発により、日常生活の安全・安心が脅かされており、地球規模の温暖化への対応は喫緊の課題となっております。

国は、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを排出する、化石燃料に頼らない「脱炭素社会」の実現に向け、「2050 年カーボンニュートラル宣言」をしたところであり、北海道では、「2050 年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す」ことを表明し、北海道の有する豊富な再生可能エネルギーや森林などの吸収源を最大限に活用しつつ、脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進める「ゼロカーボン北海道」の実現を目指しています。

このような中、本市では、「第 7 期美唄市総合計画」において「ともに支え合い 分かち合う 田園文化創造都市 びばい」を都市像として、豊かな自然環境の保全と共生を図ることにより、人と自然が共生した安全・安心のまちづくりを進めているところであり、緑豊かな農村景観や明瞭な四季が織りなす美しい自然環境などの豊かな地域資源を次世代に引き継いでいくため、温室効果ガス削減の取組を推進し、2050 年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことをここに宣言します。

令和 5 年(2023 年) 3 月 1 日

美唄市長 板東 知文